

2026年8月16日 聖霊降臨後第十二主日礼拝説教
「ただ憐れみのゆえに」(マタイ15章21～28節)

○イザヤ56章6節

「主のもとに集って来た異邦人が主に仕え、主の名を愛し、その僕となり」

*選びの外にいた人が、やがてイエスによって救いを見る。

○マタイ15章23節

「しかし、イエスは何もお答えにならなかった。」

*カナンの女の人が、助けを求めて来たにも関わらず…

⇒わたしたちも、神の憐れみを受けるに相応しくなかった。

○マタイ15章24節

「わたしは、イスラエル家の失われた羊のところにしか遣わされていない」

*キリストは、まず選びの民に、神の救いを届けられた。

問：イスラエルの人々は、選ばれるに値したのか？

☆みことばを聞いても、心頑なにする人が多かったのに…

今日のみことば：マタイ15章27節

「^{こいぬ}小犬も^{しゅじん}主人の^{しょくたく}食卓から^お落ちる^{くず}パン屑はいただくのです。」

*こどもたちではなく、小犬に過ぎないと認めながらも…

⇒パン屑のような、ほんの少しの施しであっても、いただきたいと願う彼女の求めを、キリストは受け入れられた。

○ヘブライ2章9節

「(イエスは) 神の恵みによって、すべての人のために死んでくださった」

*イエスが、あなたのために、十字架の上で死なれたから…